

地域医療連携だより

きずな



市民公開講座を開催しました

令和5年10月21日（土）におだわら市民交流センターUMECOにて小田原市立病院 市民公開講座を開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、近年はオンラインでの開催が続いておりましたが、今回から約4年ぶりに実地での開催を再開しました。当日は沢山の方にご参加いただき、おかげさまで会場はほぼ満席となりました。



会場：おだわら市民交流センター「UMECO」会議室1.2.3

第1部「頭頸部癌について」

講師：小田原市立病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 田中 義人 先生

耳鼻咽喉科・頭頸部外科に関するがんの紹介に加え、がんと診断されるまでの流れや検査・治療についてをご講演いただきました。

参加者様からは「がんについての理解が深められた」「丁寧な説明で大変わかりやすかった」とのお声をいただきました。

第2部「慢性腎臓病との付き合い方 ～腎臓病教室～」

講師：小田原市立病院 腎臓内科 濱野 直人 先生

小田原市立病院 看護師 藤田 麻理 さん

小田原市立病院 管理栄養士 遠藤 智子 さん

腎機能の解説に加え、腎機能の悪化を予防するための食生活や生活習慣についてご講演いただきました。

参加者様からは「腎機能について理解することが出来た」「日々の食生活を見直すきっかけになった」とのお声をいただきました。

なお、当院が令和6年1月下旬に手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入する予定であることから、次回の市民公開講座は手術支援ロボット「ダヴィンチ」をテーマとして取り上げたいと考えております。ご興味ある方いらっしゃいましたら、是非ご参加ください。【開催日：令和6年2月3日（土）】

【小田原市立病院 市民公開講座ホームページ】

今後の開催予定や過去の開催実績等をご覧ください。

随時更新をしていますので、ご興味のある方は是非ご覧ください。



<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/hospital/activity/pr/>

ピンクリボンフェスティバルに参加しました

10月29日(日)におだわら市民交流センターUMekoにて“ピンクリボンフェスティバル”開催され、当院からは緩和ケア科の医師とがん化学療法看護認定看護師が参加しました。

“ピンクリボンフェスティバル”とは小田原の市民団体「ピンクリボンぷらすODAWARA」によって立ち上げられた、乳がん検診の早期受診を呼びかけるための市民向けイベントであり、今回で2回目の開催となりました。

会場では、小田原医師会会長、小田原歯科医師会会長、小田原薬剤師会会長による講演や、がん治療に携わる医師、看護師、市民団体の代表との意見交換会を始め、ウィッグ体験や術後入浴着の展示、各種相談窓口の紹介など、がんに対する取り組みについて幅広く知ることができました。また、小田原市役所健康づくり課のブースでは、その場で乳がん検診の予約を取得できる本会場専用の窓口が開設されておりました。

今後とも医療スタッフ、市民団体、行政が一体となり、地域の皆様にがんの早期発見・早期診断・早期治療の重要性を伝えていきたいと考えております。



小田原市立病院のブースでは、栄養補助食品の紹介に加え、医療ウィッグや刺激の少ないネイル体験会を実施しました。

また、当院で開催しているがん患者さん向けの就労相談窓口やがん患者さんの語らいの場である「ほっとサロン」のポスターを掲示し、併せてがん治療・相談に関するパンフレットを配布することで、当院におけるがん患者さんへの支援体制についてを広報させていただきました。

ピンクリボンとは

乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の重要性を伝えるためのシンボルマークです。また、それらの重要性を広めるための啓発活動を、総称して“ピンクリボン運動”と呼びます。

予告

小田原市立病院市民公開講座

内容

手術支援ロボット

「**ダヴィンチ**」について

担当科

泌尿器科・呼吸器外科

日時

2024年**2月3日**(土) 10:00~12:00

会場

おだわら市民交流センター「UMECO」(予定)

参加費

無料

申込方法

お申し込みは不要です。
上記日時に合わせてご来場ください。